

【朝日カルチャー講座 森林インストラクターと楽しく！ 野外の自然観察】

「100年の森の野草観察とお楽しみ」



参加者 17 名+スタッフ 1 名(総合計 20 名)

筑紫駅に 10 時 10 分に集合して沿道の草花などを観察しながら 100 年の森に着く。
オープニングに一升瓶に生きたマムシの披露と 100 年の森の紹介して野草の観察を始める。

今回は「各自が食べられると思う野草を採取しましょう」ということで散らばったが、そこは朝日カルチャーの皆さんのことだからすぐさま多くの野草が集まった。

そこで戸町さんが解説しながら選別し、ピザ窯で野草のピザを焼いて食べたが一応に「美味しい」「楽しい」と好評だった。



昼食後は 100 年の森の自然観察をしながら、シンボルツリーに育てている二本のヤマザクラ(夫婦桜)の話や、やさしい里山づくりの一環に環状剥皮したクスノキの話に質問が多かった。

そして咲き始めたクリの雄花と雌花の違いや、咲く時期の「ズレ」の意味も興味を引いたようだった。

その後ふりかえりをして解散とした。

(スタッフ:戸町 文責:佐藤)